


## 安全データシート

作成日 : 2015 年 8 月 7 日, 改訂日 : 2016 年 12 月 28 日

1 製品及び会社情報	
製品の名称	オートンアドハー 777
推奨用途及び使用上の制限	ウレタン樹脂系一液湿気硬化型接着剤
会社名	オート化学工業株式会社
住所	東京都台東区上野 5-8-5
電話番号	03-5812-7310
緊急連絡先	生産本部 環境品質保証部 029-831-0913 (ファックス番号 029-831-0923)

2 危険有害性の要約			
GHS 分類	物理化学的危険性	区分外	
	健康有害性	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 2A
		皮膚感作性	区分 1
	環境有害性	区分外	
※上記で記載が無い危険有害性は、区分に該当しない。			
GHS ラベル 要素	絵表示		
	注意喚起語	警告	
	危険有害性情報	強い眼刺激 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ	
	注意書き	屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 本来の用途以外には使用しないこと。 作業の際、適切な保護具（手袋、ゴーグル等）を着用すること 子供の手の届かない所に保管すること。 環境への放出を避けること。 内容物や容器を廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた 専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。	

3 組成及び成分情報				
単一製品・混合物	混合物			
危険有害成分 (危険有害不純物)	メチレンビス (4, 1-フェニル) =ジイソシアネート (MDI と略。ウレタン樹脂に含有)			
組 成	化学名又は一般名	濃度範囲 (wt%)	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法)
	ウレタン樹脂	30 ~ 40	登録	7-820
	無機系充填材	50 ~ 60	471-34-1	既存
	高沸点炭化水素	1 ~ 10	64742-48-9	既存

4 応急措置	
吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動し保温、安静を保つ。必要に応じ医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚れた衣類を脱ぎ、触れた部分を水又は微温湯で石鹼を使って洗い落とす。炎症やかゆみ等の症状がでた場合は、医師の手当てを受ける。
目に入った場合	清浄な水で15分間以上洗眼し、眼科医の手当てを受ける。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り、取り除いて洗眼する
飲み込んだ場合	水で口の中を清浄にし、直ちに医師の手当てを受ける。

5 火災時の措置	
消火剤	水・炭酸ガス・泡・粉末・乾燥砂
特有の危険有害性	樹脂の燃焼によりシアンガスの有害成分が発生する、又、樹脂中に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険がある。
特有の消火方法	可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。
消火を行う者の保護	適切な保護具（防護マスク等）を使用し風上から消火する。

6 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には、適切な保護具（手袋、ゴーグル、防護マスク）を着用する。
環境に対する注意事項	本製品を環境中（水域、土壌）に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	回収、中和：ウエス等で拭き取り、密閉容器に回収する。 二次災害の防止策：火気厳禁の処置をとる。

7 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	技術的対策：換気の良い場所で取扱う。 周辺での火気の使用を禁止する。 安全取扱注意事項：皮膚に付着しないように長袖、手袋を着用する。 接触回避：強酸化剤と混合接触してはならない。
保管	安全な保管条件：火気、熱源から遠ざけて保管する。 子供の手の届かない所に保管する。 通気の良い屋内貯蔵所に火気厳禁で保管する。 混触禁止物質：強酸化剤と一緒に保管してはならない 安全な容器包装材料：移し変えてはならない。

8 ばく露防止及び保護措置	
許容濃度	MD I : 0.005ppm (TLV-TWA 2007) MD I : 0.05mg/m <sup>3</sup> (時間荷重平均) (日本産業衛生学会 2007 年) (原料メーカーMSDS : 2011/1/29 による) 高沸点炭化水素 : 1200mg/m <sup>3</sup> (原料メーカー 2000 年推奨値) (原料メーカーMSDS : 2013/8/9 による)

設備対策	火気厳禁の措置をとる。 排気の為の装置を設置する。
保護具	呼吸器の保護具：必要に応じ有機ガス用防毒マスクを着用。 手の保護具：手袋を着用する。 目の保護具：必要に応じ保護眼鏡を着用する。 皮膚及び身体の保護具：長袖を着用する。

9 物理的及び化学的性質	
外 観	物理的状态：ペースト状、 色：茶褐色
臭 い	脂肪族系炭化水素臭
融点・凝固点	高沸点炭化水素：< -40℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	高沸点炭化水素：147～199℃
引火点	60℃
爆発範囲	高沸点炭化水素：0.6～7.0 vol%
蒸気圧	MD I : < 0.001Pa / 25℃ 高沸点炭化水素：210Pa / 20℃
蒸気密度（空気=1）	高沸点炭化水素：1 <
密 度	1.61 / 23℃
溶解度	MD I : 水に難溶（トルエン、酢酸エチル、アセトン等に可溶） 高沸点炭化水素：< 0.1wt% 水 / 20℃
自然発火温度	高沸点炭化水素：200℃<

11 有害性情報	
急性毒性	MDI : LD <sub>50</sub> （経口）ラット 31600mg/Kg LC <sub>50</sub> （吸入） 1.51mg/L 4hr 高沸点炭化水素：LD <sub>50</sub> （経口）>15000mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	MDI : IARC19(1979)のウサギの皮膚を刺激する 高沸点炭化水素：長期間の曝露により皮膚に中度の刺激を与える
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	MDI : IARC19(1979)のウサギの眼を刺激する 高沸点炭化水素：短い時間軽度な不快感を及ぼす恐れあり
呼吸器感作性	MDI : 日本職業・アレルギー学会で気道感作性物質としてリストアップされている。
皮膚感作性	MDI : CICAD27(2000)に Mouse Ear Swelling Test の結果に基づき皮膚感作性の明確な証拠がある。
生殖細胞変異原性	MDI : 体細胞を用いる IN VIVO 変異原性試験であるヒトの末梢血リンパ球における染色体/小核分析で陰性の結果がある。
発がん性	MDI : IARC でグループ 3 に分類されている為、区分外とした。
生殖毒性	MDI : IARC71(1999)、CICAD(2000)のラットを用いた妊娠中吸入ばく露試験において親動物に一般毒性が認められる用量でも明確な生殖毒性は認められなかった。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	MDI : DFGOT(vol. 8, 1997)及び IARC71(1999)のヒトに対して気道刺激性があるとの記述あり。 高沸点炭化水素：中枢神経に悪影響することがある。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	MDI : 反復投与による組織的な毒性ではなく、組織に接触ばく露した際に生じるローカルな作用であると考えられる。

吸引性呼吸器 有害性	高沸点炭化水素：飲み込むないし吐き出す最中に、吸引される少量の液が化学的気管支肺炎ないし肺水腫を引き起こす可能性がある。
---------------	--

## 12 環境影響情報

生態毒性	高沸点炭化水素：水生生物に対する有害性は予測されない
残留性・分解性	高沸点炭化水素：易分解性
生体蓄積性	高沸点炭化水素：水生生物に対して慢性毒性を及ぼすことは予想されない。
土壤中の移動性	高沸点炭化水素：高揮発性のため、環境中に放出されると速やかに大気中に蒸発する
ガソリン層への有害性	モトリオール議定書に記載されている物質の使用はない。

## 13 廃棄上の注意

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。</li> <li>・ 燃焼又は解体等により、樹脂に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険があるので、取扱う際は、防護マスクを使用する。</li> <li>・ 洗浄処理した排水、焼却等により発生した廃棄物も、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、専門業者に処理を委託する。</li> <li>・ 廃棄物の種類：内容物〔廃プラスチック類（安定型産業廃棄物）〕</li> </ul>
---

## 14 輸送上の注意

国連番号	非該当
品名（国連輸送名）	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	航空法に定めるところに従う。

## 15 適用法令

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防法：指定可燃物（可燃性固体類）</li> <li>・ 労安法：有機則（第3種有機溶剤：石油ナフサ） 表示・通知義務対象物質（石油ナフサ：1～10wt%，MD I：1～10wt%）</li> <li>・ PRTR法：第1種指定化学物質（MD I：6.1wt%）</li> <li>・ 毒物及び劇物取締法：非該当</li> <li>・ 大気汚染防止法：非該当</li> <li>・ 水質汚濁防止法：油分排出規制対象（石油ナフサ）</li> <li>・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律</li> </ul>
--

16 その他の情報	
出典	原料メーカーの(M) SDS N I T E の G H S 分類結果データベース
その他	ホルムアルデヒドの発生、及び石綿の使用は無い。

**【注意】**

- ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。尚、新しい知見により改訂されることがあります。
- ・注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないで下さい。